

河川基金助成事業

「山・川・海—わたしたちの鏡川」 報告書

助成番号：2023-7111-040

高知県高知市

学校法人日吉学園 認定こども園

もみのき幼稚園・めだか園幼稚園

園長 氏名 兵等 弥生

2023 年度

助成番号	助成事業名		施設名			
2023-7111-040	山・川・海一わたしたちの鏡川		学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園			
所在地	高知県高知市鳥越 40-15		対象河川名	高川川 (鏡川水系)		
対象園児	年長 (36人)、年中 (36人)、年少 (33人)			活動時間	計 14 時間	
河川教育の目標	<ul style="list-style-type: none"> 川や水の特性を理解し、何が危険なのか、どうすれば危険でなくなるのかを、自分自身で感じとり、判断・対応する。 川の生きもの探しによって、生きものについての探求心を持ち、命のつながりや、人が生きていくために必要な川の姿をイメージし、行動を考える。 					
子どもに育成したい能力	<ul style="list-style-type: none"> 自然を感じて感性を磨き、身体全体を使って活動することで、強い体をつくる。 命のふしぎ、大切さに気づき、自他の命をお互いに尊重しあえる心情を育て、助け合いや協力をすることの大切さを学ぶ。 広い空間で、のびのび主体的に遊ぶことで、想像力や空想力を育てる。 自然のすばらしさに気づき、地域の財産として引き継いでいこうとする気持ちを醸成する。 					
評価の観点	川の性質やしぐみ、季節や天候による変化に気づき、興味関心と同時に危険についても理解をしたか。生きものに親しみをもち、その命が育つ川の大切さに気づいたか。自分で考え、判断する力、挑戦する力が育ったか。友だちと関わりながら、工夫・協力をし、達成する喜びを感じ、理解したことを分かち合えたか。					
学習活動の内容と成果						
<p>○主体的な川遊びを、計3回実施 当初は9回予定していたが天候不良のため中止となり、計画の1/3以下の実施回数となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動前に、協力者がその日の川の様子について話をし、川が日々異なる(変化する)ことを認識した。 川の流れを知るために、瀬を渡り、身を任せて流れることを楽しんでた。少し深さのある所で、水温や感覚の違いを体験した。 大岩からの飛び込みを希望した園児は、チャレンジをした。その際は、保育者が待機・サポートをした。 生きもの探しを行った。 <p>◎初めての川に戸惑っていた年少児に対して、年長・年中児が水に慣れるように、やさしく声をかけ、誘導していた。自分の体で川の流れ、深さを感じ、どこまでが安全で、どこからが危険なのかを、自分なりに考え、それを友だちに伝え、共有をしていた。生きものを捕まえ入れた水槽に、石の家をつくったり、生きものの生態に興味をもっていた。思い思いの遊び方を存分に楽しめていた。</p> <p>活動回数が少なくなった為、河原の石を観察し触り想像力を働かせてストーンアートに展開することも楽しめた。</p>						
河川教育を通じて見られた子どもの変容	挑戦している友だちや保育者を見て、憧れをもち、「ぼくもやってみる」「どうやったらいい?」などコツを聞いたり、色々なことにチャレンジをする姿が見られた。「あとで図鑑でしらべる」など、気になったことを、自分で調べようとするものが多くなった。それぞれに川の特性を理解し、「ここは流されて楽しい」「あそこは(足が)すべりやすいで」など、自分の体で感じ、遊びながら、危機察知能力も養っていた。					
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援の概要	高知市の青少年教育施設「高知市工石山青少年の家」の職員…計画、活動内容、安全について保育者との話し合い、当日の安全管理、川遊び・生きもの探しの指導等					
成果発表	成果作品			発表方法		
	なし					
今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> 活動場所が鏡川上流域の山間部にあり、近辺に雨量・水位の観測所がないため、インターネットでの河川水位・水量の情報が把握できない。このため、前日から当日にかけての川の様子、実施の判断は、現地にて支援者に確認をしてもらっている。今後も活動を継続していきたいと考えているが、活動場所が遠いため活動内容の工夫が必要と感じる。また、近場の河川での活動も多く取り入れていきたいと考えている。 川遊びは、水に親しむと同時に、子どもたちに著しい成長が見られる。とくに異年齢(3・4・5歳児)では顕著である。今後も、子どもたちの中で遊びをつなげ、それを見守る保育者も安全について、より学んでいきたい。 						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡川	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月18日

見られた子どもの姿：

年少児は初めての川遊び。

滑らないように少しずつ慎重に



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月18日

見られた子どもの姿：

川の瀬を渡ること、今日の水の量、冷たさが分かります



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月18日

見られた子どもの姿：

コケの生えている石は、すべりやすいので、

どこに足をおけば、うまく歩けるか、

ゆっくり考えながら、渡ります。

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡川	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：異年齢グループ
日付：2023年7月18日
見られた子どもの姿：

川の中に何かいるかな～？と友だちと一緒に水中観察



学習活動名：異年齢グループ
日付：2023年7月18日
見られた子どもの姿：

ジーっとしていた方が、魚が逃げないことに気づき
観察をしています。



学習活動名：異年齢グループ
日付：2023年7月18日
見られた子どもの姿：

体が冷えたら石の上に登って天然岩盤浴
そして、石の上から魚を発見
友だちに知らせて共有しています

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡川	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月18日

見られた子どもの姿：

浅瀬でライフジャケットで浮く感覚を確認しています



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月18日

見られた子どもの姿：

全身を川につけることは勇気がいること

徐々に慣らして

「冷たいけど気持ちがいい！」

「ここはあったかい」



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月18日

見られた子どもの姿：

足のつかないところでもライフジャケットに体を

ゆだねて、川の流れに身を任せて楽しんでいます

仰向けになることも一つの勇気がいります

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡川	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月13日

見られた子どもの姿：

先生と一緒に大丈夫

「もっと深いところに連れて行って～」



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月13日

見られた子どもの姿：

「この石の下になにかいるんじゃない？」

みんなで協力して大きい石の下を生き物を
探しています



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月13日

見られた子どもの姿：

捕れたよ捕れたよ！

オタマジャクシがいるよ！

石も入れてオタマジャクシの休憩場所を作ったよ！

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月13日

見られた子どもの姿：

大岩から先生とジャンプ

「きもちいい」



学習活動名：異年齢グループ

日付：2023年7月13日

見られた子どもの姿：

一人で勇気を出してジャンプ!!

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：4歳児

日付：2023年11月15日

見られた子どもの姿：

行川でガサガサ

川の様子をみんなで確認



学習活動名：4歳児

日付：2023年11月15日

見られた子どもの姿：

何がいるのかな？

お魚さんはどこに隠れているのかな？



学習活動名：4歳児

日付：2023年11月15日

見られた子どもの姿：

ガサガサ網を揺らして中に何が入っているか楽しみ

茂みの方に・・・

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：4歳児

日付：2023年11月15日

見られた子どもの姿：

網の中をのぞくと

トンボの赤ちゃんのヤゴがいました！



つぎつぎと捕れた生きものたちをタライの中に入れていきます。

隠れる場所も作ってあげようと声が上がります

おもいおもいの葉っぱや石を入れて魚のお家を作っていました



ジーッと眺めているかと思いきや

1. 2. 3. 4・・・と採取した生き物を数えていて
動くので数えるのがなかなか難しく「あ～～」と
悔しがっていました

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園

学習活動名：4歳児

日付：2023年11月15日

見られた子どもの姿：



みんなで観察

ヒメタイコウチ？

水カマキリ



たくさん捕れました



しっかり観察した後は、元の川に返しました

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：4歳児
日付：2024年2月28日
見られた子どもの姿：

いつも遊んでいる行川の河川敷で石ころ選定



学習活動名：4歳児
日付：2024年2月28日
見られた子どもの姿：

石で積み木
どこまで詰めるか挑戦！



学習活動名：4歳児
日付：2024年2月28日
見られた子どもの姿：

どんな風に組み立てようか考え中
右・左・上・下・表・裏
いろいろ試して想像力を掻き立てます

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：4歳児
日付：2024年2月28日
見られた子どもの姿：

できた
魚ができた
色が違う石を合わせて「魚」



学習活動名：4歳児
日付：2024年3月1日
見られた子どもの姿：

自分のイメージした魚に色付け
数に限りがあるポストカを順番に使う5歳児
トラブルがなく貸し借りができていました



注) 写真は校外や学校・教室での学習活動ごとに添付してください (枚数が多くなくても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：4歳児

日付：2024年3月1日

見られた子どもの姿：

みんなで作品観覧

色使いや形の違いを感じ取る



学習活動名：4歳児

日付：2024年3月13日

見られた子どもの姿：

模造紙を行川の河川敷に見立てて

みんなで創作

- ・川を描くグループ
- ・菜の花を描くグループ

に分かれて協力して作成！



川は流れているから同じ方向に書いたら

流れているように見えるんじゃないかな

菜の花いっぱい咲いていたよ！

見て感じたことを表現していました



助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園



学習活動名：4歳児

日付：2024年3月13日

見られた子どもの姿：

河川敷に見立てた模造紙に子ども達の作品を展示

小さい生き物は川のどの辺にいたかな？

大きい魚は川のどの辺に住んでいるんだろうね？

ちょうちょやトンボの作品もあったので

みんなで話し合っって配置を決めました



「ぼくたちわたしたちのなめかわ」はとぐみ

注) 写真は校外や学校・教室での学習活動ごとに添付してください (枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

学習活動内容紹介

○活動日・・・場所 高川

活動日	クラス・グループ	区分	人数
7月6日	はと組	5歳児	36
7月12日	ひよこ組	3歳児	33
7月13日	くまグループ	異年齢	35
7月14日	ぞうグループ	異年齢	35
7月18日	うさぎグループ	異年齢	35
7月19日	かもめ組	4歳児	36
9月5日	ひよこ組	3歳児	33
9月7日	かもめ組	4歳児	36
9月8日	はと組	5歳児	36

※昨年の活動成果について、評価委員様、有識者委員様よりアドバイスをいただいた、「繰り返し川遊びを実践し活動を充実させる」ことが天候不良・河川の状態で川遊び学習が1/3になってしまい実現できませんでした。ただ、同じ水系で自園が活動拠点としている行川でも河川学習を試みました。

○活動日・・・場所 行川

活動日	グループ・クラス	区分	人数
11月15日	かもめ組	4歳児	36
2月28日	はと組	5歳児	36

○活動場所 高知県高知市土佐山高川 「鏡川源流憩いの広場」



活動場所は、透明度が高く広い浅瀬と、飛び込み可能な大岩、カジカガエルやサワガニ、魚など、生きものも多い。

園の近くを流れている鏡川の上流にあたる。高川は山間部のため、天候による増水の影響を受けやすい。

一度の活動人数は30名以上と多く、対応する保育者と支援者は6~7名である。初めて来たときは、ライフジャケットでどれくらい浮くのか、自分をどう守ってくれるのかを、自身で実感する。



「川はかわる」。
活動のはじめに、その日の川の様子を、「水がはやい」「ふかい」、体で体感した上で、遊びを始める。



異年齢で初めて川遊びに来た時、こわそうにしている友だちがいて、「だいじょうぶ」と手をつないで、年中年長児が声をかけてあげていた。

園でのプール遊びが苦手な子が、「(川は) 楽しい」と言っていた。自分のペースで、自分の好みの水深で確かめながら、ゆっくり遊ぶことができる。



川の生き物を見つけると、友達が集まってきてどこにおった？なにがおった？と捕まえてきた生き物を観察し、わからない生き物があると園で図鑑を調べる姿が見られた。また、みんなで協力する姿も見られた。「石の下に隠れちゃう！そっち抑えて！こっちは塞いだから逃げれんようになった！」「これ、お魚のお家になろう！」と会話も弾んでいた。



足の届かない深いところで、川の流れに乗って自分なりに泳いで進むことを楽しむ年長児を見て、自分もやってみようとする気持ちが芽生えた年中児。けれど、実際にその場所に行くと思ってもいなかった水の冷たさに直面。気持ちはあっても保育者から手を離すことができませんでした。この体験の中に、やってみようという勇気、見ていただけではわからなかった水の冷たさという体験ができた瞬間でした。



○活動場所 行川 ガサガサ

幼稚園が田植をしている田んぼのすぐ近くを流れている行川。田んぼやあぜ道で虫探しはしているけど、行川の川には何が住んでいるのかな？川の中のどこに住んでいるのかな？と期待を膨らませて思い思いの場所へ進んでいきました。まずは、川の流れのある場所をひたすらに網ですくう子ども達。また、バシャバシャと足音を立てて・・・



ぜんぜんおらんやん——の声に、「今日は暖かいから陰に隠れているかもしれないね！」

この一言で、ガサガサ開始！



濁ったところにも何かいるみたい！と感を働かせて

はたまた、逃げてくる魚を待つ忍耐力





川の流れ、深さ、温度、天気、魚の種類、幼虫などで魚の生息場所が違うことを感じとった貴重な体験でした。今回4歳児だけで活動を行ったが、5歳児で同じ体験を行ったらここからまた展開ができると考える。模造紙に行川の流れを描き、採取した場所に何がいたかを絵に書き、それを、3、4歳児に発表する場が持てるとより身近な場所「僕たちわたしたち」感が増すように思う。

○活動場所 行川 ストーンアート 石拾い 2月28日



今年度は、雨が多く河原に降りることがなかった子ども達。いつも川の中にある石を拾えるということがわかるまでそう時間はかからなかった5歳児。雨が降ると川が増水し、雨が降らないと水かさが減ることを知る。そして、今立っている場所がいつもは川底という何か不思議な体験。オリジナルストーンアート作り



「先生！この石冷たい」「この石、ざらざらしゆう」「いろんな石があるき、色を塗らんでもえいがやない？」「大きい石はごつごつしゆう」・・・

子ども達の観察力にはびっくりさせられました。石の図鑑もこの場所に用意しておくべきでした。

拾った石に色付け 3月1日



どれ一つとして同じものがないオリジナルストーンアート完成！





川を一斉に書き出し始めたチーム

それぞれが、目の前の白い模造紙を塗りだしたのを別のチームの友だちが「同じ方向に横に線を描いたら川の流れるような感じになるがやない」と提案。

その声を聴いていた川グループは並びを変えて丁寧に川の流れを表現していました。想像と表現が一致した瞬間です。



お花チームはどんな花が咲いていたっけ？と行川に咲いていた花を思い出出し「菜の花」が咲いていた！事前に各グループが3月の製作で菜の花の絵を描いたり作っていたので、自分たちのグループの菜の花のイメージを持ち寄り描くことになりました。



菜の花は、○の集合体、△の集合体、∴の集合体の3種類の花で表現されていました。

子ども達の、ストーンアートは魚だけではなくトンボ、ちょうちょ、カニも表現されていたのでみんな
で完成させた、「ぼくたちわたしたちのなめかわ」にどうやって配置しようか考えました。



「ちょうちょは、お花のところで飛んでるよね」
「トンボも川の中じゃないから菜の花のうえじゃない」
「でも、卵産むとき川の上にいるよ」
「卵産むのは、冬じゃないよ！」

子ども達は、自分の知っている知識を意見し共有して
いました。

小さい生き物、中くらいの生き物、大きいサイズの魚の場所は？

それぞれが作ったストーンアートを模造紙の上に置いていきました。



完成しました。子ども達が作り上げた

「ぼくたちわたしたちのなめかわ」

お迎え時に、だれもが観覧できるようにテラスに飾りました。自分が作ったストーンアートを見てもら
い喜びと誇らしさが見受けられました。自分で選んだ石、色付けをしたストーンアート、保護者の方も
田植え稲刈りに行って慣れ親しんだ行川を表現することができ達成感を味わっていました。

2日ほど展示をし、降園時に自分のストーンアートを持ち帰りました。翌朝、模造紙の上に何もなくなり、「なんかさみしいね」と聞こえてきました。何人かの子ども達も「何にもないと、行川さみしいね」と。子ども達に、この模造紙に行川を描くときに何があった？と聞いたとき「川・花」と答えてたよね、実はもっとたくさんのゴミがあったんだよ！と話すと、びっくりした顔の子どもたち。でもすぐに「あった！ジュースの缶」「ビニール袋」ゴミがいっぱいの川には生き物たちは生きづらくなっちゃうんだって。だから、このさみしい行川にならないようにしないといけないね。と、話をすると、行川にあるゴミは拾って幼稚園に持って帰ろうと素敵な声が聞こえてきました。

本当の「ぼくたちわたしたちのなめかわ」が完成しました。

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡川	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園

主な実施箇所 高知市土佐山高川 「鏡川源流憩いの広場」

助成事業の主な実施箇所



助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-040	山・川・海—わたしたちの鏡川	学校法人日吉学園 認定こども園 もみのき幼稚園・めだか園
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所 高知市行川 行川川	
		